

『日本資本主義構造研究会会報』

(1960. 9. №1 ~ 1962. 9. №12)

【総目録】

- №1 研究会の発足にあたって……………専修大学社会科学研究所長 小林良正
日本資本主義構造研究会について……………小林 義 雄
研究報告 戦後日本農業の推移……………石 渡 貞 雄
企業系列化について……………小林 義 雄
研究会議事録
- №2 研究報告 戦後日本の権力規定……………福 島 新 吾
企業別組合の分析視角……………大 友 福 夫
研究会議事録
- №3 研究報告 戦後経済発展と貿易問題……………森 田 桐 郎
研究会議事録
- №4 研究報告 『日本経済の成長力論争』——「下村理論」批判——……………山 田 克 己
- №5. 討論会 戦後の時代区分について……………(T)
研究報告 戦後循環論争の問題点……………小 林 良 正
研究会議事録……………(T)
研究会から
- №6 研究報告 国家独占資本主義論争によせて……………玉 垣 良 典
討論の要旨……………(M)
- №7 研究報告 戦後政治の概観と特徴……………大 島 太 郎
討論要旨……………(M)
討論報告への補足……………大 島 太 郎
討論要旨 「管理価格」のメカニズム……………(T)
- №8 研究報告 管理通貨制度とその問題点……………長 幸 男
討論要旨……………森 田 桐 郎
紹介 バルガの論文「マルクス恐慌理論と景気研究」にたいする
コメント……………玉 垣 良 典
研究会から

№9	総合研究『昭和25～30年における日本資本主義の再生産構造とその権力体系』 ——36年度研究実績報告(写)………	専修大学日本資本主義構造研究会事務局
№10	研究報告 中堅企業論—ビッグ・ビジネスとスモール・ビジネスとのあいだ— …… 討論要旨………	中村 秀一郎 (M)
№11	研究報告 技術進歩の産業循環に及ぼす影響—戦後の日本の場合について— ……… 技術革新と戦後循環……… 第二次世界大戦後に農業恐慌を認めうるか—農業恐慌の把握方法について— ………	小林 義雄 玉垣 良典 石渡 貞雄
№12	研究報告 農業金融の基礎構造とその変化の傾向………	高橋 七五三

【項目別目録】

<研究報告>

戦後日本農業の推移………	石渡 貞雄	№1
企業系列化について………	小林 義雄	№1
戦後日本の権力規定………	福島 新吾	№2
企業別組合の分析視角………	大友 福夫	№2
戦後経済発展と貿易問題………	森田 桐郎	№3
『日本経済の成長力論争』—「下村理論」批判—………	山田 克己	№4
戦後循環論争の問題点………	小林 良正	№5
国家独占資本主義論争によせて………	玉垣 良典	№6
戦後政治の概観と特徴………	大島 太郎	№7
管理通貨制度とその問題点………	長 幸男	№8
中堅企業論………	中村 秀一郎	№10
技術進歩の産業循環に及ぼす影響………	小林 義雄	№11
技術革新と戦後循環………	玉垣 良典	№11
第二次世界大戦後に農業恐慌を認めうるか………	石渡 貞雄	№11
農業金融の基礎構造とその変化の傾向………	高橋 七五三	№12

<その他>

研究会の発足にあたって………	小林 良正	№1
----------------	-------	----

日本資本主義構造研究会について……………	小林 義雄 №.1
紹介 バルガの論文「マルクス恐慌理論と景気研究」にたいするコメント……………	玉垣 良典 №.8
討論会 戦後の時代区分について……………	№.5
討論要旨 「管理価格」のメカニズム……………	№.7
討論要旨……………	№.6～№.8
研究会議事録……………	№.1, №.2, №.3, №.5

『専修大学社会科学研究所月報』

(1963. 10. №.1～1971. 12 №.99)

【 総 目 録 】

№. 1	再発足記念の会 挨拶……………	専修大学長…相馬 勝夫
	再発足の経緯……………	山田 盛太郎
	構造研から社研再発足へ—事務局の弁—……………	長 幸男
	研究ノート 工業集積の形態と理論……………	江沢 譲爾
	資料ノート 購入図書資料一覧 №.1	
	所 報	
	所員業績調	
№.2・3	研究ノート 「管理通貨と価格運動」にかんするノート……………	長 幸男
	いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(1)……………	森田 桐郎
	資料ノート 購入図書資料一覧 №.2	
	所 報	
	所員業績調	
№. 4	研究ノート 独占価格理論の諸問題……………	一橋大学経済研究所…高須賀 義博
	添田寿一の「主従の美風」論……………	近藤 享一
	研究会だより	
	資料ノート 購入図書資料一覧 №.3	
	所 報	

所員業績調

- № 5 研究ノート 「諸形態」と「農業共同体」に関する覚え書(1)……………望 月 清 司
物価論論争覚え書—金・物価論争の一こま—……………玉 垣 良 典
資料ノート 購入図書資料一覧 №4

所員業績調

- № 6 研究ノート 資本蓄積と競争のメカニズム……………山 田 克 己
「諸形態」と「農業共同体」に関する覚え書(2・完) ……望 月 清 司
資料ノート 購入図書資料一覧 №5

所員業績調

- № 7 研究ノート 福祉国家と兵営国家—1つのコメント—……………福 島 新 吾
いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(2)……森 田 桐 郎
資料ノート 購入図書資料一覧 №6

所 報

- № 8 研究ノート 生産的労働に関する一断章……………高 橋 七 五 三
いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(3)……森 田 桐 郎

所 報

所員業績調

- № 9 研究ノート 現時点からみた財閥解体の功罪……………榎 井 義 雄
「疎外の問題」覚え書……………森 川 喜 美 雄
資料ノート 購入図書資料 №7

所 報

所員業績調

- № 10 研究ノート 産業別組織化の実態からみた労働組合の問題……………大 友 福 夫
E E C機構の法的側面……………打 田 峻 一
ルポルタージュ 最近の石川島をみて—工場見学記(1)—……………栗 木 安 延

所 報

所員業績調

- № 11 研究ノート 憲法改定論における表現の自由の問題……………隅 野 隆 徳
ドイツ中世都市成立論についての反省……………林 毅

所 報

資料ノート 購入図書資料一覧 №.8

所員業績調

- №.12 研究ノート 社会学の成立史にかんする諸問題……………芥 川 集 一
ルポルタージュ(2) 日本鋼管水江製鉄所・川崎製鉄所の両工場を見学して
……………栗 木 安 延

所 報

所員業績調

- №.13 研究ノート 明治末期における「特約紡績」をめぐる……………加 藤 幸三郎
文献紹介 最近のソビエト経済関係雑誌の目次……………編集部加藤佑治

所 報

所員業績調

- №.14 研究ノート 銀行「系列融資」の評価について…日本開発銀行調査部…龍 昇 吉
北京シンポジウム・参加日誌から……………東京経済大学…川 上 正 道
活動報告 鉄鋼業実態調査経過概要……………総合実態調査班・栗木安延
資料ノート 購入図書資料一覧 №.9

所 報

所員業績調

- №.15 研究ノート 最近の雇用構造の変化と労働運動……………山 下 不二男
「労働力流動化」と賃金政策……………加 藤 佑 治

所 報

所員業績調

『月報』主要総目次一覧

- №.16 研究ノート ソ連の利潤論争について……………平 館 利 雄
現代と帝国主義—ブラウン氏の新著に寄せて(1)— ……宮 崎 犀 一

所 報

所員業績調

資料ノート 購入図書資料一覧 №.10

- №.17 研究ノート 日本農業の今日の問題—それはどんな性質の問題なのか—
……………石 渡 貞 雄

政治意識の動向と展望……………大島 太郎

所 報

所員業績調

- №18 研究ノート 「農業近代化」の意味するもの—最近の農政をめぐる諸問題—
……………静岡大学…上原 信博
国際通貨問題の一面—ドゴール提案のふくむ問題—……長 幸男

資料ノート 購入図書資料一覧 №11

所員業績調

- №19 研究ノート 「諸形態」における「奴隷制および農奴制」について…望月 清司
……………現代的福祉国家論の側面……………宮田 三郎

所 報

所員業績調

- №20 研究ノート 春闘の問題点……………日本女子大学…倉野 精三
……………保守党支持率の国際的水準……………福島 新吾

所員業績調

- №21 研究ノート 企業倒産の法的意味……………打田 峻一
……………金とドルについての一推論……………長 幸男

所 報

所員業績調

- №22 研究ノート 職業訓練をめぐる諸問題……………佐々木 享
……………書評 森田桐郎著『国際経済入門』について……………富山大学…淡路 憲治

所 報

- №23 研究ノート 中小企業倒産の構造的要因について—商工中金調査部
……………の調査報告によせて……………中村 秀一郎
……………第二次大戦後における資本主義世界市場の再分割
……………—統計的分析—(1)……………森田 桐郎

- №24 研究ノート 加速度と成長率との関係に関する試論……………江沢 譲爾
……………第二次大戦後における資本主義世界市場の再分割—統計的分析—(2)
…………………………森田 桐郎

所員業績調

- №25 研究ノート 成熟資本主義の動学—戦後資本主義にたいする
 J. Steindleの最近の見解について……………玉垣良典
 韓日経済関係に関する分析理論……………洪性圀・中川信夫
 所報
 所員業績調
- №26 研究ノート フランス経済学の現状について……………京都大学…河野健二
 法史学における「法」の概念について……………林毅
 加速度と成長率との関係に関する試論の「補正」……………江沢譲爾
 資料ノート 購入図書資料一覧 №12
 所報
 所員業績調
- №27 研究ノート 「諸形態」と「インド通信」におけるアジア社会像……………望月清司
 中国の人民警察……………隅野隆徳
 所報
- №28 研究ノート 現代イギリスにおける銀行業務の動向……………今田治彌
 経済統計論の学説史の方法に関する覚書……………佐藤博
 『月報』最近号主要目次
 所員業績調
- №29 研究ノート 自治体問題の現状覚書(一)……………大島太郎
 聴取座談会 戦前における呉海軍工廠労働者状態の一こま(一)……………脇田伝市他
 資料ノート 購入図書資料一覧 №12 [ママ]
 所報
 所員業績調
- №30 研究ノート 仮説・アメリカ独占資本主義の典型性……………高橋七五三
 科学研究体制再編の動向……………佐々木享
 資料ノート 購入図書資料一覧 №13
 所員業績調
- №31 研究ノート マルクスの貨幣通流論……………西田勲
 聴取座談会 戦前における呉海軍工廠労働者状態の一こま(二)……………脇田伝市他
 書簡 プリンストン便り(1)—社研の加藤幸三郎君へ—……………長幸男

所員業績調

- №32 研究ノート 社会政策論の転機—故服部英太郎教授の社会政策論の
現代的意義にふれて……………大友 福夫
『諸形態』と『資本論』における原蕃期自営農民について

……………望月 清司

書簡 プリンストン便り(2)—社研の吉沢芳樹様へ……………長 幸男

- №33 研究ノート 三井財閥の形成について……………加藤 幸三郎
中国革命根拠地の選挙制度について……………宮坂 宏

所員業績調

- №34 研究ノート 産業社会論にかんするノート(I)—産業社会学から産業社会論へ—

……………芥川 集一

「日本資本市場の研究」に関するノート……………志村 嘉一

所報

所員業績調

- №35 研究ノート 司法統計からみた相続の実態(1)—司法統計年報(家事編)
を通して……………泉 久雄
道路政策の基調について……………池田 博行

- №36 研究ノート 司法統計からみた相続の実態(2)—司法統計年報(家事編)
を通して……………泉 久雄

『月報』最近3号の主要目次

所員業績調

- №37 研究ノート 明治期における植民主義の形成……………福島 新吾
『特定研究』会報告

所員業績調

- №38 研究ノート 歴史科学の方法論……………小林 良正
所員業績調

- №39 研究ノート 第一回日ソマルクス主義経済学者シンポジウムに参加して

……………森田 桐郎

書評 中村秀一郎・杉岡硯夫・竹中一雄著『日本産業と寡占体制』…越後 和典

「構造研」の報告

資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(No.1)

所員業績調

- No.40 研究ノート 予算理論の貧困……国立国会図書館調査立法考査局…小島 昭
調査報告 三井鉱山関係資料採訪調査報告(1)―三池・筑豊の旅から―
……………加藤 幸三郎

所員業績調

- No.41 研究ノート いわゆる「労働力流動化政策」の性格―現段階における
労働力政策の特質をめぐって……………加藤 佑 治
予算理論の貧困(続)……………小島 昭

所 報

所員業績調

資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(No.2)

- No.42 研究ノート “近代化”についてのある視点(1)―シリル・E・ブラック教授
“比較近代化の視角からみたロシア史”の紹介と若干の感想……………長 幸 男

所員業績調

- No.43 回 顧 山田盛太郎所長の御退職にあたって―専修大学における山田先生―
……………吉 沢 芳 樹
研究ノート 経営経済的原価思考の発展についての覚書……………小 林 健 吾
調査報告 三井鉱山関係資料採訪調査報告(2)―三池・筑豊の旅から―
……………加藤 幸三郎

資料ノート 定期購読外国雑誌

所 報

所員業績調

- No.44 研究ノート 日本資本主義確立期および帝国主義成立期における
関税政策論争―序論(1)……………吉 沢 芳 樹
調査報告 東洋紡績浜松工場C A S見学記……………小 林 義 雄
住友金属工業株式会社和歌山製鉄所見学記……………栗 木 安 延

資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(No.3)

- No.45 研究ノート 工場誘致条例をめぐる若干の問題……………宮 田 三 郎

- 中国革命根拠地の選挙制度について(続)……………宮 坂 宏
- 調査報告 長野県製糸業についての実態・聴取調査報告……………加 藤 幸三郎
- 資料ノート 山田盛太郎氏寄贈図書
- 所 報
- 所員業績調
- №.46.47 研究ノート 「近代化」についてのある視点(2)……………長 幸 男
 近代化論の基本的性格と未来学……………殿 村 晋 一
 清末の近代法典編纂と日本人学者—刑律草案と岡田朝太郎—
 ………………宮 坂 宏
 「後期中等教育改革」と若年労働力問題……………佐々木 享
- 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№.4)
- 所 報
- №.48 研究ノート 石渡貞雄教授著『現代資本論』[—方法論的考察—を読んで
 ………………佐 藤 博
 日本型小農民についての—考察……………玉 城 哲
- 所 報
- 所員業績調
- №.49 研究ノート 明治維新分析のための世界史的視点について—河野健二著
 「フランス革命と明治維新」書評—……………望 月 清 司
 M・ドップ「1917年以降のソヴェト経済の発展」改訂版に
 ついて—第14章「計画制度」を中心に—……………宮 下 誠一郎
- 資料ノート 購入図書資料 №.16
- 所員業績調
- №.50 研究ノート レオ・ヒューバーマンとポール・スティーゼのソ連観について
 ………………雪 山 慶 正
 オスカル・ランゲ「電子計算機と市場メカニズム」………
 ………………訳解説…森 田 桐 郎
- 事務局からの訴え M氏への手紙
- №.51 研究ノート 社会政策研究ノート断片……………坂 牧 三 郎
 書評 森田桐郎著『南北問題』……………柳 田 侃
- 所 報

所員業績調

- №52 研究ノート 西ヨーロッパ型「近代化」理解の一視角—ブルジョア民主主義
の歴史的 성격について……………望 月 清 司
戦後における「維新史研究」の動向—日本地主制史研究よりみ
たる—……………加 藤 幸三郎

資料ノート 購入図書資料 №17

- 活動報告 実態調査班—日雇労働市場研究会の活動報告……………加 藤 佑 治
№53 回 顧 ある歴史家の回想……………三 島 一
№54 回 顧 ひとりの人間の歩み……………岡 部 市五郎

資料ノート 購入図書資料一覧〔№18〕

- №55 研究ノート ソ連の工業生産指数—西側からの研究—……………西 田 勲
米軍資金援助と現代日本の科学—軍事研究問題への一つの
覚え書—……………佐々木 享

資料ノート コミュニカル資料集について……………(D)

- №56 研究ノート 最近の農業高地代をいかに理解するか—日本農業の近代化と
関連して—……………石 渡 貞 雄
『ドイツ・イデオロギー』におけるブルードンの問題…森 川 喜美雄

資料ノート 購入図書資料一覧 №19

- №57 研究ノート 世界循環の変化と国際通貨体制の危機……………玉 垣 良 典
南ヴェトナム解放民族戦線の通貨発行について……………
……………高崎経済大学…真 保 潤一郎

所 報

- №58 研究ノート 日本の対中国資本輸出と帝国主義の成立……………小 林 義 雄
紹 介 オタ・シク「社会主義のもとでの市場諸関係と計画」(その1)
……………森 田 桐 郎

所員業績調

- №59 研究ノート アメリカ経済—一つの視角……………高 橋 七五三
『経・哲手稿』における事物の疎外と自然の疎外について
……………望 月 清 司

所 報

- №60 研究ノート 中国・歴史研究者との交流—プロレタリア文化大革命
 '68年3月—……………齊藤秋男
 紹介 ジャック・ヴァリエ「キューバの経済。その動きのいくつかの本質的な
 問題について」(要約)……………宮下誠一郎
 資料ノート 購入図書資料一覧 №20
- №61 研究ノート 社会主義経済における計画と市場機構……………山田克己
 紹介 オタ・シク『社会主義のもとでの市場諸関係と計画』(その2)
 ………………森田桐郎
 資料ノート 購入図書資料一覧 №21
- №62 研究ノート 分権化・自由化・民主化—社会主義の経済改革の性格についての
 若干の試論的考察—……………正村公宏
 書評 ジャン・ヴィエ「社会科学における構造主義の諸方法」……………江沢譲爾
- №63 調査報告 諏訪製糸同盟について—職工登録制度を中心として—……山田兼義他
 諏訪製糸同盟の職工登録制度について……………佐々木 享
 長野県製糸業に関する資料調査報告……………加藤 享一
 福井県織物業についての予備調査報告……………加藤 幸三郎
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№6)
- 所 報
 所員業績調
- №64 研究ノート 『要綱』におけるブルードンの問題……………森川喜美雄
 現代資本主義への迂回的接近……………吉家清次
 所員業績調
- №65 書評 平館利雄著『ソヴィエト計画経済の展開』……………一橋大学…岡 稔
 訪米視察記……………石崎唯雄
 資料ノート 購入図書資料一覧 №22
- №66 研究ノート 日露戦争前後における二、三の民事立法について……………打田 駿一
 生糸商権をめぐる内外商の角逐—横浜甲90番館と三井物産—
 ………………梅井義雄
- №67 調査報告 日雇労働市場実態調査の中間的集約……………西岡幸泰

山谷労働者の生活と意識—日雇労働者に聞く—

…………… 社研日雇労働市場実態調査班 編集責任西岡幸泰

所 報

- №68・69 研究ノート 独占・独占価格・独占的動態……………吉 家 清 次
最近の国鉄問題によせて……………池 田 博 行

所員業績調

- №70 研究ノート 「知識産業論」(仮称)の課題……………正 村 公 宏
日本綿糸紡績業の独占化に関する覚書き……………泉 武 夫

所 報

- №71 研究ノート 都市形成の歴史から(その1)……………池 田 博 行
『百科全書』におけるLUXEの概念……………木 崎 喜代治

所 報

- №72 研究ノート 都市形成の歴史から(その2)……………池 田 博 行
№73 研究ノート 都市形成の歴史から(その3)……………池 田 博 行

所員業績調

- №74 研究ノート 労働組合と政党の関係について……………栗 木 安 延
現代の国際関係—進んだ現実と遅れた研究—……………山 本 満

- №75 研究ノート フランス小売商業の構造……………中 村 秀一郎

所員業績調

- №76 紹介 ズジュニヨーク・コデット『社会主義経済における独占と競争』
……………吉 家 清 司 訳

所 報

- №77 研究ノート カミュにおける「反抗」の意味—アナーキズム(労働組合主義)
の問題を中心とした、カミュニサルトル論争の考察—(1)……

……………森 川 喜美雄

- №78 研究ノート 統計学史におけるケトレの位置づけにかんする覚書……佐 藤 博
カミュにおける『反抗』の意味(2)……………森 川 喜美雄

所 報

- №79 研究ノート 1930年代研究 №1 アメリカ資本満州導入についての考察
—1930年代の日米財団関係史の一側面—……………長 幸 男

所員業績調

- №.80 研究ノート イタリア資本主義と国際経済—グラムシ研究所・経済政策研究センター
共催シンポジウム報告—……フェルトリネリ研究所…片 桐 薫
昭和43年就業構造基本調査—結果の概要—……
………総理府統計局労働力統計課…本 多 秀 司
- №.81 研究ノート 核戦力強化・公害拡大・資源問題・そして関東大震災—政治学
への問いをもつ1つの終末論的経済観—……高 橋 七五三
マルクスの価値論と貨幣論にたいするいくつかの疑問…西 田 勲

所員業績調

- №.82 研究ノート 地域経済における寡占と独占競争……江 沢 譲 爾
書評 加藤佑治著「日本帝国主義下の労働力政策—全般的労働義務制の
史的究明—」……飯 田 鼎

雑 録

夏期合宿研究会の報告

- №.83 研究ノート 恐慌と支払猶予……打 田 峻 一
ソ連邦での二つの国際歴史学会……梅 井 義 雄
- №.84 研究ノート 日本灌漑農業把握への一視野……玉 城 哲
書評 ミハルスキー著(尾上久雄・飯尾要共訳)「社会的費用論」…蔵 下 勝 行
- №.85 研究ノート ルソーの政体区分の意義について……木 崎 喜代治
- 所 報
- №.86 研究ノート すべての権威を否定する……池 田 博 行
ノート：使用者費用の定義……平 川 東 亜
- 所 報 《要綱》研究会の報告

- №.87 研究ノート ポール・M・スウィージーとジャール・ベトレームの往復書簡—
“Lettres sur quelques problèmes actuels du socialisme”
………宮 下 誠一郎
山谷日記—日雇労働力市場調査の一駒—……加 藤 佑 治
- 所 報
- №.88 研究ノート 「共同体のための賦役労働」について……望 月 清 司
資料紹介 中華人民共和国婚姻法関係資料……宮 坂 宏
- 所員業績調

- №.89 特定研究「産業構造変革」特集—1
 研究報告 産業構造の変革と経営・労働関係の転回……………玉垣良典
 特定研究「産業構造変革」購入文献資料 №.1
- №.90 特定研究「産業構造変革」特集—2
 研究報告 戦後再編成過程の構造的特質(中間報告の要旨)……………鍋島力也
 所報 「専修大学社会学研究所施設改善・充実のためのアンケート」結果について
- №.91 特定研究「産業構造変革」特集—3
 研究報告 戦後農業史への一つのこころみ—米価政策の機能を中心として—
 ……………玉城哲
 所報
 『帝国主義研究会』発足のおしらせ
 特定研究「産業構造変革」購入文献資料 №.2
- №.92 研究ノート サルトルにおける人民戦線の諸問題—(1)……………森川喜美雄
 『定例研究会運営委員会』からのお知らせ
- №.93 研究ノート サルトルにおける人民戦線の諸問題—(2)……………森川喜美雄
- №.94 特定研究「産業構造変革」特集—4
 研究報告 ベンチャー・ビジネス—その国際比較……………中村秀一郎
- №.95 特定研究「産業構造変革」特集—5
 研究報告 構造としての地域、その区分の基準……………江沢譲爾
 池本喜三夫の勝利と不遇……………石渡貞雄
- №.96 特定研究「産業構造変革」特集—6
 研究報告 「国民皆保険」段階における日本医療保障の転変……………西岡幸泰
 所報 特定研究「産業構造変革」の研究計画・研究体制の具体化について
 ……………社研・産構研センター
- №.97 研究ノート 近代経済学とマルクス経済学—ラディカル・エコノミストの
 見解(その1)……………吉家清次
 寄贈資料のお知らせとお礼……………資料部 宮下誠一郎
- №.98 研究ノート アジア農業の印象—地中海からモンスーン・アジアまで—
 ……………玉城哲
 所報

№.99 回顧 捧げる言葉—レオ・ヒューバーマンの靈に……………雪山 慶 正

イギリスの旅・ソ連の旅(1)……………加藤 幸三郎

所報

所員業績調

【項目別目次(号数順)】

〈研究ノート〉

- 工業集積の形態と理論……………江 沢 譲 爾 №.1
「管理通貨と価格運動」にかんするノート……………長 幸 男 №.2・3
いわゆる「不均等発展の法則」についてのノート(1)~(3)……森田桐郎 №.2・3, №.7, №.8
独占価格理論の諸問題……………高須賀 義 博 №.4
添田寿一の「主従の美風」……………近 藤 享 一 №.4
「諸形態」と「農業共同体」に関する覚え書(1)~(2)……………望 月 清 司 №.5, №.6
物価論争覚え書……………玉 垣 良 典 №.5
資本蓄積と競争メカニズム……………山 田 克 己 №.6
福祉国家と兵営国家—一つのコメント—……………福 島 新 吾 №.7
生産的労働に関する一断章……………高 橋 七 五 三 №.8
「疎外の問題」覚え書……………森 川 喜 美 雄 №.9
現時点からみた財閥解体の功罪……………榎 井 義 雄 №.9
産業別組織化の実態からみた労働組合の問題……………大 友 福 夫 №.10
E E C機構の法的側面……………打 田 駿 一 №.10
憲法改定論における表現の自由の問題……………隅 野 隆 徳 №.11
ドイツ中世都市成立論についての反省……………林 毅 №.11
社会学の成立史にかんする諸問題……………芥 川 集 一 №.12
明治末期における「特約紡績」をめぐる……………加 藤 幸 三 郎 №.13
銀行「系列融資」の評価について……………龍 昇 吉 №.14
北京シンポジウム・参加日誌から……………川 上 正 道 №.14
最近の雇用構造の変化と労働運動……………山 下 不 二 男 №.15
「労働力流動化」と賃金政策……………加 藤 佑 治 №.15
ソ連の利潤論争について……………平 館 利 雄 №.16
現代と帝国主義—ブラウン氏の新著に寄せて(1)—……………宮 崎 犀 一 №.16

日本農業の今日の問題—それはどんな性質の問題なのか—	石渡貞雄	N617
政治意識の動向と展望	大島太郎	N617
「農業近代化」の意味するもの—最近の農政をめぐる諸問題—	上原信博	N618
国際通貨問題の一面—ドゴール提案のふくむ問題—	長幸男	N618
「諸形態」における「奴隷制および農奴制」について	望月清司	N619
現代的福祉国家論の側面	宮田三郎	N619
春闘の問題点	倉野精三	N620
保守党支持率の国際的水準	福島新吾	N620
企業倒産の法的意味	打田峻一	N621
金とドルについての一推論	長幸男	N621
職業訓練をめぐる諸問題	佐々木享	N622
中小企業倒産の構造的要因について—商工中金調査部の調査報告によせて—		
.....	中村秀一郎	N623
第二次大戦後における資本主義世界市場の再分割(1)~(2)	森田桐郎	N623, N624
加速度と成長率との関係に関する試論	江沢譲爾	N624
成熟資本主義の動学—戦後資本主義に対するJ. Steindleの最近の見解について—		
.....	玉垣良典	N625
韓国経済関係に関する分析理論	洪性圀・中川信夫訳	N625
フランス経済学の現状について	河野健二	N626
法史学における「法」の概念について	林毅	N626
加速度と成長率の関係に関する試論の「補正」	江沢譲爾	N626
「諸形態」と「インド通信」におけるアジア社会像	望月清司	N627
中国の人民警察	隅野隆徳	N627
現代イギリスにおける銀行業務の動向	今田治彌	N628
経済統計論の学説史の方法に関する覚書	佐藤博	N628
自治体問題の現状覚書(一)	大島太郎	N629
仮説・アメリカ独占資本主義の典型性	高橋七五三	N630
マルクスの貨幣通流論	西田勲	N631

社会政策論の転機—故服部英太郎教授の社会政策論の現代的意義にふれて—

-大友福夫 №32
- 『諸形態』と『資本論』における原蓄期自営農民について.....望月清司 №32
- 三井財閥の形成について.....加藤幸三郎 №33
- 中国革命根拠地の選挙制度について(正・続).....宮坂宏 №33, №45
- 産業社会論にかんするノート(1)—産業社会学から産業社会論へ—.....芥川集一 №34
- 「日本資本市場の研究」に関するノート.....志村嘉一 34
- 司法統計からみた相続の実態(1)~(2)—司法統計年報(家事編)を通して—
.....泉久雄 №35, №36
- 道路政策の基調について.....池田博行 №35
- 明治期における植民主義の形成.....福島新吾 №37
- 歴史科学の方法論.....小林良正 №38
- 第一回日ソマルクス主義経済学者シンポジウムに参加して.....森田桐郎 №39
- 予算理論の貧困(正・続).....小島昭 №40, №41
- いわゆる「労働力流動化政策」の性格—現段階における労働力政策の特質を
めぐって—.....加藤佑治 №41
- “近代化”についてのある視点(1)~(2)—シレル・E・ブラック教授“比較近代化の
視角からみたロシア史”の紹介と若干の感想.....長幸男 №42, №46・47
- 経営経済的原価思考の発展についての覚書.....小林健吾 №43
- 日本資本主義確立期および帝国主義成立期における関税政策論争—序論(1)—
.....吉沢芳樹 №44
- 工場誘致条例をめぐる若干の問題.....宮田三郎 №45
- 近代化論の基本的性格と未来学.....殿村晋一 №46・47
- 清末の近代法典編纂と日本人学者—刑律草案と岡田朝太郎—.....宮坂宏 №46・47
- 「後期中等教育改革」と若年労働力問題.....佐々木享 №46・47
- 石渡貞雄強授著『現代資本論』【—方法論的考察—を続いで.....佐藤博 №48
- 日本型小農民についての一考察.....玉城哲 №48

明治維新分析のための世界史的視点について—河野健二著「フランス革命と

- 明治維新」書評—……………望月清司 №49
- M・ドップ「1917年以降のソヴェト経済の発展」改訂版について—第14章
「計画制度」を中心に—……………宮下誠一郎 №49
- レオ・ヒューバマンとポール・スティーラーのソ連観について……………雪山慶正 №50
- オスカル・ランゲ「電子計算機と市場メカニズム」……………訳・解説 森田桐郎 №50
- 社会政策研究ノート断片……………坂牧三郎 №51
- 西ヨーロッパ型「近代化」理解の一視角—ブルジョア民主主義の歴史的 성격
について—……………望月清司 №52
- 戦後における「維新史研究」の動向—日本地主制史研究よりみたる—…加藤幸三郎 №52
- ソ連の工業生産指数—西側からの研究—……………西田勲 №55
- 米軍資金援助と現代日本の科学—軍事研究問題への一つの覚え書—…佐々木 享 №55
- 最近の農業高地代をいかに理解するか—日本農業の近代化と関連して—…石渡貞雄 №56
- 『ドイツ・イデオロギー』におけるブルードンの問題……………森川喜美雄 №56
- 世界循環の変化と国際通貨体制の危機……………玉垣良典 №57
- 南ヴェトナム解放民族戦線の通貨発行について……………真保潤一郎 №57
- 日本の対中国資本輸出と帝国主義の成立……………小林義雄 №58
- アメリカ経済・一つの視角……………高橋七五三 №59
- 『経・哲手稿』における事物の疎外と自然の疎外について……………望月清司 №59
- 中国・歴史研究者との交流—プロレタリア文化大革命'68年3月—…齊藤秋男 №60
- 社会主義経済における計画と市場機構……………山田克己 №61
- 分権化・自由化・民主化—社会主義の経済改革の性格についての若干の
試論的考察……………正村公宏 №62
- 『要綱』におけるブルードンの問題……………森川喜美雄 №64
- 現代資本主義への迂回的接近……………吉家清司 №64
- 訪米視察記……………石崎唯雄 №65
- 日露戦争前後における二、三の民事立法について……………打田峻一 №66
- 生糸商権をめぐる内外商の角逐—横浜甲90番館と三井物産—……………母井義雄 №66
- 独占・独占価格・独占的動態……………吉家清次 №68・69
- 最近の国鉄問題によせて……………池田博行 №68・69

「知識産業論」(仮称)の課題	正村公宏	№70
日本綿糸紡績業の独占化に関する覚書き	泉武夫	№70
都市形成の歴史から(その1~その3)	池田博行	№71~73
『百科全書』におけるLUXEの概念	木崎喜代治	№71
労働組合と政党の関係について	栗木安延	№74
現代の国際関係—進んだ現実と遅れた研究—	山本満	№74
フランス小売商業の構造	中村秀一郎	№75
カミュにおける「反抗」の意味(1~2)—アナーキズム(労働組合主義)の問題を 中心とした、カミュ=サルトル論争の考察—	森川喜美雄	№77, №78
統計学史におけるケトレの位置づけにかんする覚書	佐藤博	№78
アメリカ資本満州導入についての考察—1930年代の日米財団関係史の一側面—	長幸男	№79
イタリア資本主義と国際経済—グラムシ研究所・経済政策研究センター共催 シンポジウム報告—	片桐薫	№80
昭和43年就業構造基本調査—結果の概要—	本多秀司	№80
核戦力強化・公害拡大・資源問題・そして関東大震災—政治学への問いをもつ 1つの終末論的経済観—	高橋七五三	№81
マルクスの価値論と貨幣論にたいするいくつかの疑問	西田勲	№81
地域経済における寡占と独占競争	江沢譲爾	№82
恐慌と支払猶予	打田駿一	№83
ソ連邦での二つの国際歴史学会	梶井義雄	№83
日本灌漑農業把握への一視野	玉城哲	№84
ルソーの政体区分の意義について	木崎喜代治	№85
すべての権威を否定する	池田博行	№86
ノート:使用者費用の定義	平川東亜	№86
ポール・M・スウィージーとシャルル・ベトレームの往復書簡—“Lettres sur quelques problèmes actuels du socialisme”—	宮下誠一郎	№87
山谷日記—日雇労働力市場調査の一駒—	加藤佑治	№87
「共同体のための賦役労働」について	望月清司	№88
サルトルにおける人民戦線の諸問題—(1)~(2)—	森川喜美雄	№92, №93

近代経済学とマルクス経済学—ラディカル・エコノミストの見解(その1)

..... 吉 家 清 次 №97

<研究報告>

産業構造の変革と経営・労働関係の転回

..... 玉垣良典 №89(特定研究「産業構造変革」特集-1)

戦後再編成過程の構造的特質..... 鍋島力也 №90(特定研究「産業構造変革」特集-2)

戦後農業史への一つのころみ—米価政策の機能を中心として—

..... 玉 城 哲 №91(特定研究「産業構造変革」特集-3)

ベンチャー・ビジネス—その国際比較—

..... 中村秀一郎 №94(特定研究「産業構造変革」特集-4)

構造としての地域, その区分の基準.. 江沢譲爾 №95(特定研究「産業構造変革」特集-5)

池本喜三夫の勝利と不遇..... 石渡貞雄 №95(特定研究「産業構造変革」特集-5)

「国民皆保険」段階における日本医療保障の転変

..... 西岡幸泰 №96(特定研究「産業構造変革」特集-6)

<書 評>

森田桐郎著『国際経済入門』について..... 淡 路 憲 治 №22

中村秀一郎・杉岡硯夫・竹中一雄著『日本産業と寡占体制』..... 越 後 和 典 №39

森田桐郎著『南北問題』..... 柳 田 侃 №51

ジャン・ヴィエ「社会科学における構造主義の諸方法」..... 江 沢 譲 爾 №62

平館利雄著『ソヴェト計画経済の展開』..... 岡 稔 №65

加藤佑治著「日本帝国主義下の労働力政策—全般的労働義務制の史的究—」

..... 飯 田 鼎 №82

ミハルスキー著(尾上久雄・飯尾要共訳)「社会的費用論」..... 蔵 下 勝 行 №84

<回 顧>

山田盛太郎所長の御退職にあたって—専修大学における山田先生—..... 吉 沢 芳 樹 №43

ある歴史家の回想..... 三 島 一 №53

ひとりの人間の歩み..... 岡 部 市五郎 №54

捧げる言葉—レオ・ヒューバーマンの霊に—..... 雪 山 慶 正 №99

イギリスの旅・ソ連の旅(1)……………加藤 幸三郎 №99

<調査報告・座談会>

最近の石川島をみて—工場見学記(1)—……………栗木安延 №10

日本鋼管水江製鉄所・川崎製鉄所の両工場を見学して—工場見学記(2)—

……………栗木安延 №12

鉄鋼業実態調査経過概要……………総合実態調査班 栗木安延 №14

戦前における呉海軍工廠労働者状態の一こま(一〜二)……………脇田伝市他 №29, №31

三井鉱山関係資料探訪調査報告(1〜2)—三池・筑豊の旅から……………加藤幸三郎 №40, №43

東洋紡績浜松工場C A S 見学記……………小林義雄 №44

住友金属工業株式会社和歌山製鉄所見学記……………栗木安延 №44

長野県製糸業についての実態・聴取調査報告……………加藤 幸三郎 №45

実態調査班=日雇労働市場研究会の活動報告……………加藤 佑治 №52

諏訪製糸同盟について—職工登録制度を中心として—

……………山田兼義・伊藤正和・近藤享一・佐々木享 №63

諏訪製糸同盟の職工登録制度について……………佐々木 享 №63

長野県製糸業に関する資料調査報告……………近藤 享一 №63

福井県織物業についての予備調査報告……………加藤 幸三郎 №63

日雇労働市場実態調査の中間的集約……………西岡 幸泰 №67

山谷労働者の生活と意識—日雇労働者に聞く—

……………社研日雇労働市場実態調査班 編集責任西岡幸泰 №67

<文献・資料紹介>

最近のソビエト経済関係雑誌の目次……………編集部・加藤佑治 №13

資料ノート コミンテルン資料集について……………(D) №55

オタ・シク「社会主義のもとでの市場諸関係と計画」(その1, 2)…森田桐郎 №58, №61

ジャック・ヴァリエ「キューバの経済。その動きのいくつかの本質的な問題

について」(要約)……………宮下 誠一郎 №60

ズジェニョーク・コデット『社会主義経済における独占と競争』……………吉家清次 訳 №76

中華人民共和国婚姻法関係資料……………宮 坂 宏 №88

<書 簡>

プリンストン便り(1)—社研の加藤幸三郎君へ……………長 幸 男 №31

プリンストン便り(2)—社研の吉沢芳樹様へ……………長 幸 男 №32

事務局からの訴え M氏への手紙……………№50

<資料ノート>

購入図書資料一覧№.1～№.22……………№.1～№.7, №.9, №.11, №.14

№.16, №.18, №.26, №.29, №.30, №.49, №.52, №.54, №.56, №.60, №.61, №.65

定期購読外国雑誌……………№.43

山田盛太郎氏寄贈図書……………№.45

コシントルン資料集について (D) ………………№.55

寄贈資料のお知らせとお礼 資料部 宮下誠一郎……………№.97

特定研究「日本の近代化」購入図書資料一覧№.1～№.6 ……№.39, №.41, №.44, №.46・47, №.63, №.89, №.91

特定研究「産業構造変革」購入文献資料№.1, №.2……………№.89, №.91

<その他>

再発足記念の会挨拶……………相 馬 勝 夫 №.1

再発足の経緯……………山 田 盛 太 郎 №.1

構造研から社研再発足へ—事務局の弁—……………長 幸 男 №.1

所報 「専修大学社会科学研究所施設改善・充実のためのアンケート」結果について……………№.90

所報 特定研究「産業構造変革」の研究計画・研究体制の具体化について

……………社研・産構研センター №.96

雑 録……………№.82

夏期合宿研究会の報告……………№.82

《要綱》研究会の報告……………№.86

「帝国主義研究会」発足のおしらせ……………№.91

「定例研究会運営委員会」からのお知らせ……………№.92

所 報…… №. 1 ~ №. 4, №. 7 ~ №. 17, №. 19, №. 21, №. 22, №. 25 ~ №. 27, №. 29, №. 34,
№. 41, №. 43, №. 45 ~ №. 48, №. 51, №. 57, №. 59, №. 63, №. 67, №. 70, №. 71, №. 76,
№. 78, №. 85 ~ №. 87, №. 91, №. 98, №. 99

所員業績調…… №. 1 ~ 6, №. 8 ~ 21, №. 24 ~ №. 26, №. 28 ~ 31, №. 33, №. 34, №. 36 ~
№. 43, №. 45, №. 48, №. 49, №. 51, №. 58, №. 63, №. 64, №. 68 · 69, №. 73, №. 75,
№. 79, №. 81, №. 88, №. 99

編集後記

『特定研究「日本の近代化」研究報』

(1966. 11. №. 1 ~ 1970. 3. №. 12)

【 総 目 次 】

№. 1 研究体制についての報告

研究ノート 明治期における植民主義の形成……………福 島 新 吾

「特定研究」会報告

研究会日誌

№. 2 研究ノート 第一回日ソマルクス主義経済学者シンポジウムに参加して

……………森 田 桐 郎

資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№. 1)

「特定研究」第2回研究会ひらく

№. 3 研究ノート いわゆる「労働力流動化政策」の性格—現段階における労働力政策

の特質をめぐって—……………加 藤 佑 治

資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№. 2)

研究会誌

№. 4 研究ノート “近代化” についてのある視点(1)—シ ril · E · ブラック教授

“比較近代化の視角からみたロシア史” の紹介と若干の感想—

……………長 幸 男

調査報告 長野県製糸業についての実態・聴取調査報告……………加 藤 幸三郎

- №5 研究ノート 日本資本主義確立期および帝国主義成立期における関税政策
 論争—序論(1)……………吉 沢 芳 樹
 調査報告 東洋紡績浜松工場C A S 見学記……………小 林 義 雄
 住友金属工業株式会社和歌山製鉄所見学記……………栗 木 安 延
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№3)
 研究会誌
- №6 研究ノート “近代化” についてのある視点(2)……………長 幸 男
 近代化理論の基本的性格と未来学……………殿 村 普 一
 清末の近代法典編纂と日本人学者—刑律草案と岡田朝太郎—
 ……………宮 坂 宏
 「後期中等教育改革」と若年労働力問題……………佐々木 享
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№4)
- №7 研究ノート 西ヨーロッパ型「近代化」理解の一視角—ブルジョア民主主義
 の歴史的 성격について……………望 月 清 司
 戦後における「維新史研究」の動向—日本地主制史研究より
 みたる……………加 藤 幸三郎
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№5)
 研究会誌
- №8 調査報告 諏訪製糸同盟について—職工登録制度を中心として—…近藤享一・佐々木享
 諏訪製糸同盟の職工登録制度について……………佐々木 享
 長野県製糸業に関する資料調査報告……………近 藤 享 一
 福井県織物業についての予備調査報告……………加 藤 幸三郎
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№6)
 研究会誌
- №9 研究ノート 日本の対中国資本輸出と帝国主義の成立……………小 林 義 雄
 最近の農業高地代をいかに理解するか—日本農業の近代化と
 関連して……………石 渡 貞 雄
 資料ノート 「近代化」購入図書資料一覧(№7)
 研究会誌
- №10 研究ノート 日露戦争前後における二、三の民事立法について……………打 田 峻 一
 生糸商権をめぐる内外商の角逐—横浜甲90番館と三井物産—…梅 井 義 雄

研究会誌

- №11 研究ノート 郡是製糸を中心とする綾部調査のノート……………長 幸 男
 戦時労働力政策の二、三の問題……………佐々木 享

研究会誌

- №12 研究ノート 「産業合理化」についての覚書……………栗 木 安 延

研究会誌

<終刊に際して>

特定研究「日本の近代化」研究報(№1~№12)総目次

【項目別目次】

<研究ノート>

- 明治期における植民主義の形成……………福 島 新 吾 №1
 第一回日ソマルクス主義経済学者シンポジウムに参加して……………森 田 桐 郎 №2
 いわゆる「労働力流動化政策」の性格—現段階における労働力政策の特質をめぐって—
 ……………加 藤 佑 治 №3
 “近代化”についてのある視点(1・2)—シリル・E・ブラック教授“比較近代化
 の視角からみたロシア史”の紹介と若干の感想—……………長 幸 男 №4, №6
 日本資本主義確立期および帝国主義成立期における関税政策論争—序論(1)
 ……………吉 沢 芳 樹 №5
 近代化理論の基本的性格と未来学……………殿 村 晋 一 №6
 清末の近代法典編纂と日本人学者—刑律草案と岡田朝太郎—……………宮 坂 宏 №6
 「後期中等教育改革」と若年労働力問題……………佐々木 享 №6
 西ヨーロッパ型「近代化」理解の一視角—ブルジョア民主主義の歴史的な性格について—
 ……………望 月 清 司 №7
 戦後における「維新史研究」の動向—日本地主制史研究よりみたる—…加 藤 幸三郎 №7
 日本の対中国資本輸出と帝国主義の成立……………小 林 義 雄 №9
 最近の農業高地代をいかに理解するか—日本農業の近代化と関連して—
 ……………石 渡 貞 雄 №9
 日露戦争前後における二、三の民事立法について……………打 田 峻 一 №10

生糸商権をめぐる内外商の角逐—横浜甲90番館と三井物産……………	梅井義雄	№10
郡是製糸を中心とする綾部調査ノート……………	長幸男	№11
戦時労働力政策の二、三の問題……………	佐々木享	№11
「産業合理化」についての覚書……………	栗木安延	№12

<調査報告>

長野県製糸業についての実態・聴取調査報告……………	加藤幸三郎	№4
東洋紡績浜松工場CAS見学記……………	小林義雄	№5
住友金属工業株式会社和歌山製鉄所見学記……………	栗木安延	№5
諏訪製糸同盟について—職工登録制度を中心として—……………	近藤享一	
	佐々木享	№8
諏訪製糸同盟の職工登録制度について……………	佐々木享	№8
長野県製糸業に関する資料調査報告……………	近藤享一	№8
福井県織物業についての予備調査報告……………	加藤幸三郎	№8

<資料ノート>

「近代化」購入図書資料一覧(№1~№7)……………	№2, №3, №5~№9
---------------------------	---------------

<その他>

研究会誌……………	№1, №3, №5, №7~№12
終刊に際して……………	№12
特定研究「日本の近代化」研究報(№1~№12)総目次……………	№12

『特定研究「産業構造変革」特集号』

(1971.2. 特集1~1971.9. 特集6)

【総目次】

特集—1(『月報』№89)

研究報告 産業構造の変革と経営・労働関係の転回……………	玉垣良典
------------------------------	------

特定研究「産業構造変革」購入文献資料 №.1

特集-2 (『月報』№.90)

研究報告 戦後再編成過程の構造的特質(中間報告の要旨)……………鍋島力也

所報 「専修大学社会科学研究所施設改善・充実のためのアンケート」結果について

特集-3 (『月報』№.91)

研究報告 戦後農業史への一つのころみ—米価政策の機能を中心として—

……………玉城哲

所報

『帝国主義研究会』発足のおしらせ

特定研究「産業構造変革」購入文献資料 №.2

特集-4 (『月報』№.94)

研究報告 ベンチャー・ビジネス—その国際比較—……………中村秀一郎

特集-5 (『月報』№.95)

研究報告 構造としての地域, その区分の基準……………江沢譲爾

池本喜三夫の勝利と不遇……………石渡貞雄

特集-6 (『月報』№.96)

研究報告 「国民皆保険」段階における日本医療保障の転変……………西岡幸泰

所報 特定研究「産業構造変革」の研究計画・研究体制の具体化について

……………社研・産構研センター

【項目別目次】

<研究報告>

産業構造の変革と経営・労働関係の転回……………玉垣良典 №.89 特集-1

戦後再編成過程の構造的特質(中間報告の要旨)……………鍋島力也 №.90 特集-2

戦後農業史への一つのころみ—米価政策の機能を中心として—

……………玉城哲 №.91 特集-3

ベンチャー・ビジネス—その国際比較—……………中村秀一郎 №.94 特集-4

構造としての地域, その区分基準……………江沢譲爾 №.95 特集-5

池本喜三夫の勝利と不遇……………石渡貞雄 №.95 特集-5

「国民皆保険」段階における日本医療保障の転変…………… 西岡幸泰 №.96 特集-6

<資料ノート>

特定研究「産業構造変革」購入文献資料(№.1～№.2)…………… №.89 特集-1, №.91 特集-3

<所報>

「専修大学社会科学研究所施設改善・充実のためのアンケート」結果について
…………… №.90 特集-2

特定研究「産業構造変革」の研究計画・研究体制の具体化について
…………… 社研・産構研センター №.96 特集-6

所報…………… №.91 特集-3

『帝国主義研究会』発足のおしらせ…………… №.91 特集-3

<おしらせ>

(専修大学社会科学研究所関係の刊行物には以下のものがあります。余部のあるものについては実費でお頒けします。)

山田盛太郎編 『日本資本主義の諸問題—小林良正博士還暦記念論文集—』(小林良正博士還
暦記念論文集刊行会 1960年 未来社制作 Vj + 465p.+年譜 附小林良正博士著作目録)

専修大学社会科学研究所編 『日本資本主義構造の研究』(専修大学社会科学研究所叢書 №.1
1968年 未来社 401p.+索引Vjii)

Thomas Balogh 森田桐郎・正村公宏訳 『国際経済関係にたいする現実的な接近方法の
理論的意味について—伝統的国際経済理論批判—』(専修大学社会科学研究所資料 1 1966
年 専修大学社会科学研究所 78p. タイプ印刷)

佐々木 享編 『雑誌「科学主義工業」総目次』(専修大学社会科学研究所資料 2 1970年
専修大学社会科学研究所 74p. 内解説6p. タイプ印刷)

専修大学社会科学研究所編 『社会科学年報 1—社会科学の現役階的課題—』(1966年 専
修大学研究所 XV + 508p.)

I 現代資本主義の経済理論 / II 歴史の諸問題 / III 日本経済の諸問題 / IV 現代の政治と法 / 別篇

専修大学社会科学研究所編 『社会科学年報2』(1967年 未来社 265 p.)

独占資本主義における価値と価格／高橋七五三 マルクスのケネー把握についての一考察／
宮下誠一郎 戦後日本鉄鋼業の労働力再編／栗木安延 エス・メンシコフ現代循環のメカニ
ズムについて／玉垣良典訳 他

専修大学社会科学研究所編 『社会科学年報3一特集 労働力構造の日本的展開一』(1969年
未来社 384 p.)

日本における全般的労働義務制の展開／加藤佑治 若年労働力問題と技能者養成政策にかん
する考察／佐々木享 第二次大戦後における鉄鋼労働力の社会的編成／栗木安延 他

専修大学社会科学研究所編 『社会科学年報4一特集 古典研究の現代的地平一』(1970年
未来社 319 p.)

マルクスにおけるリカード理論の発見と批判／吉沢芳樹 シュティルナー『唯一者とその
所有』とマルクス／森川喜美雄 ケネーの租税根拠論／木崎喜代治 現代研究への経済学史的
アプローチ／内田義彦・平田清明 他

専修大学社会科学研究所編 『社会科学年報5一特集 两大戦間の法と経済一』(1971年 未
来社 304 p.)

市民的法治国問題について／宮田三郎 ロシア革命と憲法／隅野隆徳 恐慌とモラトリアム
／打田峻一 日本帝国主義の形成と三井財閥／加藤幸三郎 三井物産における山本条太郎と
森格／梅井義雄 SEDのヴァイマル期労働運動史論／西岡幸泰 危機の時代の経済と法／
勝本正晃・打田峻一・泉久雄 他

<編集後記> 新生“社研”が1963年9月に再発足してから8年5カ月が経過し、“月報”も
100号を数えるにいたりました。これを記念して、事務局の発議にもとづき、今回は“研究報”
の目録を制作すると共に、現所長も含め所長であった方々にご一文をお願いし、小林良正氏に
再発足時の事情についてお話していただきました。これを機会に、所員各氏のご協力に感謝い
たしますと共に、なお一層のご援助をお願いする次第です。 (編集部)

神奈川県川崎市生田4764

専修大学社会科学研究所 電話(044)91-7131〔内線63〕

(発行者) 江 沢 譲 爾